

コーデノロジストが目指すべきもの —南極ビエンナーレというプロジェクト—

18:00 開催の辞

18:05~18:30 **研究報告** 「コーデノロジストとしての荒川+ギンズ」
/三村 尚彦(身体論研究班 主幹)

18:30~19:30 **講演** 「第1回南極ビエンナーレと第2回に向けて」
/アレクサンドル・ポノマリヨフ氏(アーティスト)

19:30~20:00 質疑応答

コメンテーター・通訳/鴻野 わか菜氏(早稲田大学 教授)

聴講無料

申込不要



アレクサンドル・ポノマリヨフ

Alexander Ponomarev

1957年、ドニエプロペトロフスク(旧ソ連)生。オリョール美術学校卒業後、海への憧れを募らせ、オデッサ工科海洋大学に入学。航海士として7つの海を旅し、1982年に美術界に戻り、現在に至るまで、海、船をテーマとする作品を展開。2017年にはコミッショナーとして第1回南極ビエンナーレを実施した。「瀬戸内国際芸術祭2016」、「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2018」に参加。「夢みるカー未来への飛翔 ロシア現代アートの世界」展(2019年8~10月、市原湖畔美術館)では、展示室一面に水を張り、極地の海の空間を現出させるインスタレーション《ナルシス》を制作した。

Profile

鴻野 わか菜

Wakana Kono

1973年生。早稲田大学教育・総合科学学術院教授。東京外国語大学卒業。東京大学大学院修了(博士)。国立ロシア人文大学大学院修了(Ph.D)。専門はロシア文学・美術・文化。訳書にレオニート・チシコフ『かぜをひいたおつきさま』(徳間書店)、共著書に『幻のロシア絵本 1920-30年代』(淡交社)など。第1回南極ビエンナーレに参加。「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2018」の《南極ビエンナーレ フラム号2》など、現代ロシア作家のコーディネートを担当し、「夢みるカー未来への飛翔 ロシア現代アートの世界」展ではゲストキュレーターを務めた。



お問い合わせ先

関西大学 研究所事務グループ

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35

TEL:06-6368-0653 FAX:06-6339-7721

E-mail: touzaiken@ml.kandai.jp

関西大学 梅田キャンパス

〒530-0014 大阪府大阪市北区鶴野町1番5号

TEL:06-4256-6410

2019年 **12/11** 水
18:00~20:00

場所:関西大学 梅田キャンパス701教室